

令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 6年 3月 25日

団体所在地 尾道市木ノ庄町木梨 696
団体の名称 尾道市立木ノ庄東幼稚園
職・氏名 園長 神原 芳則

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・園内探検 (桜, チューリップ, メダカ池)
- ・雨上がりの泥んこ遊び
- ・園外探検 (坂道の八重桜) ～八重桜ままごと
- ・遠足 (地域の神社遊び, 春探し)
- ・地域の方のお庭でサクランボ狩り
- ・田んぼの散歩～田植え後の散歩
- ・アジサイ散歩
- ・サツマイモの苗植え

【7月～9月】(夏季)

- ・夏野菜, ツル性植物の栽培活動
- ・ひまわりトンネル作戦
- ・石鹼とお花のパフェ屋さん
- ・夏野菜の収穫
- ・カブトムシと一緒に入れる家
- ・お花の色水シロップのかき氷屋さん
- ・太陽光 (鏡で光を集める, 水を温める)
- ・稲刈り体験

【10月～12月】(秋季)

- ・カマキリランド
- ・リュウキュウアサガオの秘密基地
- ・木の実のパン屋さん
- ・ヨウシュヤマゴボウのジュース屋さん
- ・秋探しの園外探検 (近隣の神社, 田んぼ)
- ・トトロの森の探検 (竹の節で演奏会)
- ・木の実のアート作品製作
- ・芋ほり～焼き芋大会

【1月～3月】(冬季)

- ・影の型取り遊び
- ・氷探し, 氷づくり, 氷の模様探し
- ・雪集め (保護者の車から雪をゲット)
- ・バードウォッチング
- ・鳥の巣箱作り (鳥を呼ぼう)
- ・草花トッピングのピザ屋さん
- ・春探しの探検 (蕾, フキノトウ, 鳥の声)

活動報告（詳細）

【4月～6月】

（写真）

『アジサイ散歩』



（エピソード記述）

6月初め、玄関前に鉢植えのアジサイを移動すると子どもたちが興味をもって寄ってくる。

「なんでここに持ってきたの？」

「季節の花だから、今が一番きれいなんだよ。近くで見たいと思ってね」

「かわいいね」

「僕のおばあちゃんいっぱい植えとるよ」

と言う会話から、園児の家近くのアジサイ坂まで散歩の足を延ばし、色や種類が多様に咲き誇る美しさを味わったり、名前を祖母から教わったりして楽しんだ。

季節の事象と園内の自然，地域の自然，園児自身の身近な自然とがつながりあった出来事だった。

【7月～9月】

（写真）

『お花の色水シロップのかき氷屋さん』



（エピソード記述）

夏休み前の7月中旬，お祭りや出店に興味広がっている子どもからかき氷屋さんのアイデアが生まれる。本物の氷で遊びたい子どもたちは「預かり保育室の冷蔵庫で凍らせたい」と教師に願い出て，カラーフィルムで作った色水を凍らせて削る遊びが始まった。

遊びの中で，シロップをかけたい思いが強まり，戸外で継続的に楽しんでいる花の色水遊びとつながって，遊びが発展していった。

人工物にはない時間の経過とともに退色する面白さと大変さや，レモン汁など混ぜあわせで変色する不思議さなどを味わいながら，遊び込むことができた。

【10月～12月】

(写真)

『トトロの森の探検』



(エピソード記述)

以前から新しいフィールドとして気になっていた場所であるが、スズメバチの姿があったため躊躇していた。安全の確認ができたので、まずはその場所に親しむ程度にと考えて探検に出かけた。

しかし、子どもたちの遊びを発見する力は素晴らしく、朽ちた竹を半分に裂いて木の股に掛けて木の実滑り台、木登り、落ち葉シャワーなど、さまざまな遊びが始まって予定を大幅に超えて楽しんだ。

中でも枝で周りの木や地面、竹を叩いていた子どもが、竹の節によって音が違うことに気が付いた。たまたま音階らしく聞こえる竹があり、教師がチューリップを演奏してみせると、音階探しや演奏会が始まって、夢中で竹を叩く子どもの姿があった。

【1月～3月】

(写真)

『鳥の巣箱作り (鳥を呼ぼう)』



(エピソード記述)

2月上旬、園庭のフェンス外にある柿の木やその後ろの竹林に鳥がいることに気が付き、廃材で双眼鏡を作ってバードウォッチングをしていた。もっと近くに来てくれないかと相談していると、家で姉と作った手作り巣箱と木材を持って登園する子どもが現れた。園内で使うには釘の処理など危険があったので、一緒にリメイクして、バードウォッチングをしていた場所に近い木に設置した。また、興味をもった子どもたちと一緒に鳥に関する図鑑など探し、いつでも見られるようその近くに置いた。

その日から子どもたちは毎朝その木の下に集まり、「メジロはジュースの方がいいみたいじゃね」

「おれんちから持ってきたミカン絞ろうや」など、鳥の種類、種類による食べ物の違い、引き寄せ方、鳥の色の美しさなど、調べて興味関心を広げ、試行錯誤しながら楽しんだ。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
 - 園内カンファレンスのテーマのひとつとして『自然体験』『自然に関わる遊びの姿』などを取り上げて共有し、遊びの広がりや発展を狙ってアイデアを出し合ったり、遊びの中の学びを多面的に捉え教師の資質向上につなげたりする。（週1回）
 - 栽培活動に取り入れる花や野菜、園内の植物の植え替えについて、職員間で思いを出し合い、園全体の自然環境の在り方や自然に関わる子どもへの願いなどを共有する。

- ・ 地域との関わりについて
 - 竹林を保有する方にその場所や竹の利用などの協力をお願いし、保育に取り入れられるようにする。
 - 園外探検の際に庭のサクランボやフキノトウなどの季節の自然物に触れ合わせていただく。
 - カブトムシの幼虫やメダカなど、地域の方からいただき、子どもと一緒に飼育する。
 - 老人会の方にご指導いただき、サツマイモの苗植え、収穫、焼き芋大会を一緒に楽しむ。

- ・ 保護者との関わりについて
 - 子どもの興味をもっている事柄について発信し、家庭でも共通して体験に取り入れてもらえるようにする。また、家庭からの情報も積極的に取り入れて、園と家庭との体験をつなげていく。
 - 栽培活動で実った野菜を持ち帰り、一緒に料理したり味わったりできるよう協力をお願いする。
 - 園庭の環境整備にご協力いただき、一緒に子どもの遊びの環境を整える。（年1）

- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--